

～郷土史つづり～

その(56)「製麺機」

文責
郷土史マスター
川内つづり



早来郷土資料館には「製麺機」が展示されています。前回ご紹介した「石臼」で挽いた粉から、うどんなどの麺を作るために、当時活躍したのが「手動製麺機」です。明治時代に佐賀県で開発されたそうです。大正時代に一般普及が進み、昭和の戦中戦後の食糧不足では、暮らしを支える大切な道具であったようです。

「製麺機」の使い方は、まず小麦粉などの粉に水を混ぜて生地を作り、それを「製麺機」のハンドルを回してローラーで薄く延ばします。薄く延びた生地は、歯車を切り替えた「製麺機」にもう一度通します。どんどん麺状になって出てくる様子は、子供も大人もわくわくしたことでしょう。その後、工場で製麺されるようになると、次第に姿を消しました。

現在資料館の展示物は一つしかありません。もし、ご自宅に眠っている「製麺機」をお持ちの方は、お知らせ頂きたいと思います。

平成30年度第14回教育委員会議決事項等報告(3月28日開催)

- ①安平町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
 - ②安平町鉄道資料館管理規則の制定について
 - ③安平町文化財の指定解除について
 - ④安平町障がい児特別保育実施要綱の一部改正について
 - ⑤平成29年度教育委員会事務局事業点検・評価報告について
 - ⑥早来中学校再建に係る校舎建設方針について
- ※第一回教育委員会(4月25日開催予定)については次号でお知らせします。
また、教育委員会はご来館でも傍聴できます。
詳しくは教育委員会事務局まで(☎29-17036)

公民館図書室

新着図書のご案内



新しい本がたくさん入りました！早来・追分どちらの公民館の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしています。

早来公民館

〈一般書〉

暮しの手帖のおべんとうのおかず196(暮しの手帖編集部)／原発ゼロ、やればできる(小泉 純一郎)／妻のトリセツ(黒川 伊保子)／木曜日の子ども(重松 清)／駒音高く(佐川 光晴)

〈児童書〉

恋するいきもの図鑑(今泉 忠明)／地震のサバイバル(洪在徹)／ことばハンター 国語辞典はこうつくる(飯間 浩明)／チーズ一家まるやかなおもいで。(たみや ともか)／だいきぎぎゅっぎゅっ(フィリス・ゲイシャイトー)

追分公民館

〈一般書〉

ゆかいな認知症 介護を「快護に変える人」(奥野 修司)／使い勝手のよいいつものバッグ(後藤 麻美)／リトルガールズ(錦見 映理子)／世界はもっと美しくなる 奈良少年刑務所詩集(詩・受刑者 編・寮 美千子)／父と僕の終わらない歌(サイモン・マクダーモット)

〈児童書〉

ギヴ・ミー・ア・チャンス 犬と少年の再出発(大塚 敦子)／キッズおり紙ヒーローキ 距離型 遠くまで飛ぶ20機(戸田 拓夫)／バレエ・シューズ(ノエル・ストリートフィールド)／ウィリーのぼうけん(マーガレット・ワイズ・ブラウン)／パタンパ！(ひらい けんいち)

図書室開室日 火～日曜日 9時～17時

※他にもたくさんの本を揃えています。ぜひご利用ください。

今月の展示テーマ

『平成から令和へ』

来る5月1日に「平成」は「令和」に元号が変わります。災害が多く、技術が革新的に進歩をとげた平成の30年間でしたが、始まる新しい時代が、平和でよいものであることを願ってやみません。さて、毎年4月は昨年度の貸出BEST20を展示しています。今年は併せて平成時代にベストセラーになった本も展示します。絵本はロングセラーが多いジャンルですので、平成時代に絵本にっぽん賞、日本絵本大賞を受賞した作品を展示します。